記者発表資料

平成26年6月13日
東北地方整備局
青森河川国道事務所

津軽自動車道　五所川原西バイパスが「本格的な降雪前の秋頃」に開通します。
～救急医療・地域産業に貢献～

国土交通省が事業を進めてきました、一般国道101号 五所川原西バイパス 延長約3.8kmが本格的な降雪前の秋頃に開通できる見込みとなりましたので、お知らせします。

今回の開通により、これまで整備を進めて参りました浪岡五所川原道路から延伸され、五所川原市内の交通混雑の緩和、五所川原市を中心とした人的交流・物流の促進等に寄与するものと期待されます。

○今回の開通による主な整備効果

効果1 ： 交通混雑の緩和、交通安全の向上
効果2 ： 迅速・安定した救急搬送を支援
効果3 ： 地域産業を支援　　等

1. 開通区間
○津軽自動車道　一般国道101号 五所川原西バイパス
五所川原北IC　～　つがる柏IC（仮）　（延長 約3.8km）

※ 今回開通する区間は、これまでと同様に無料となります。
※ 今回の開通区間については自動車専用道路となり、歩行者、自転車、軽車両、二輪車(125cc以下)は通行できません。

2. 開通日、開通式典等の日時については、後日お知らせします。

（記者発表先）　青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
青森市中央三丁目２０－３８　　電話０１７－７３４－４５２１(代表)
副所長(道路担当)　大森　祐一（内線２０５）
工務第二課長　　岩渕　敦（内線４１１）

津軽自動車道

一般国道101号　五所川原西バイパス

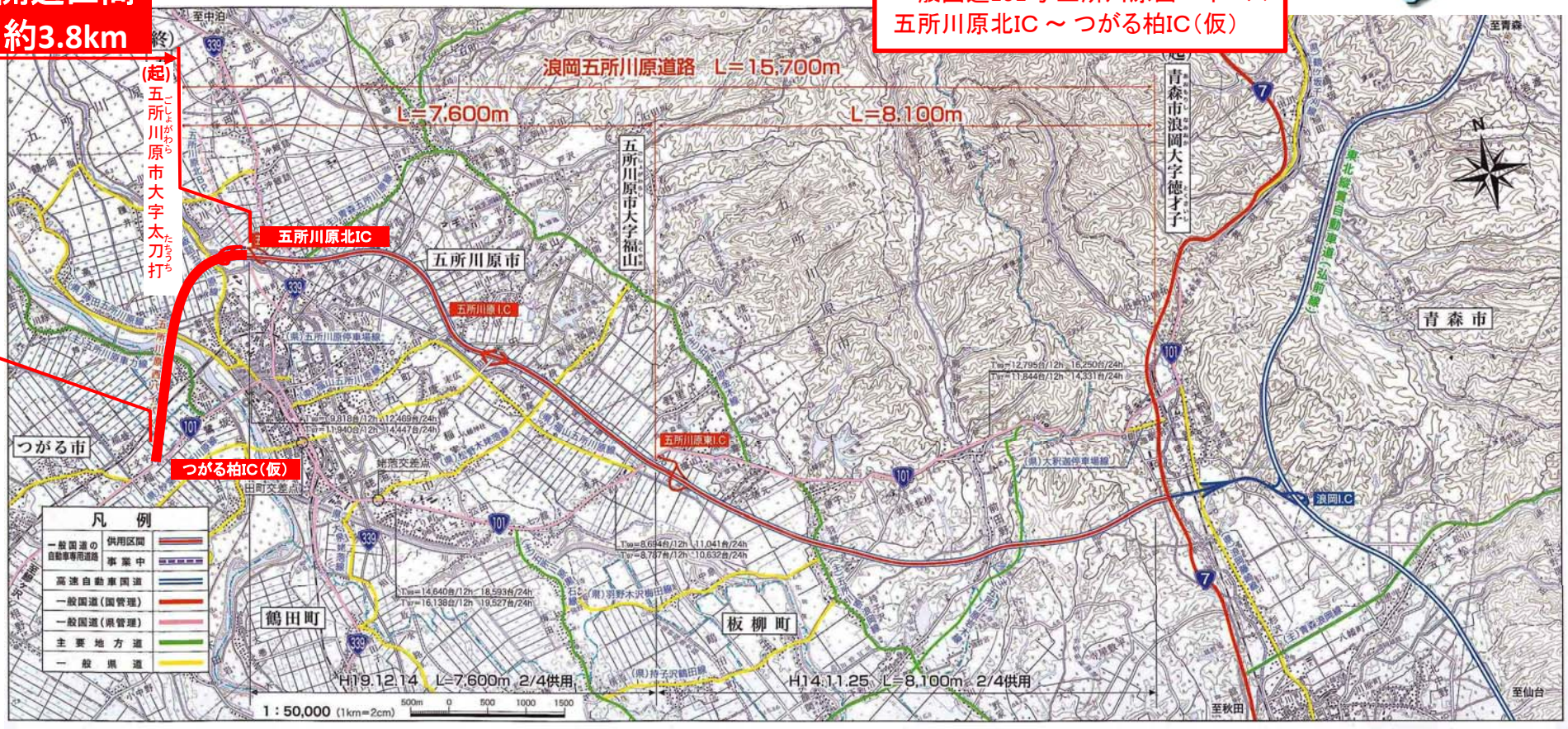
五所川原北IC ～ つがる柏IC（仮）（延長 約3.8km）



開通区間
約3.8km

(終)つがる市柏稲盛岡本

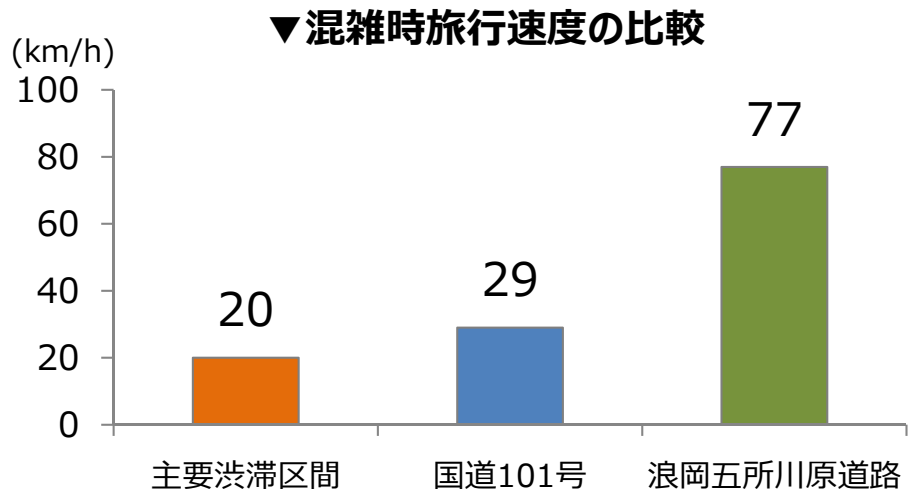
(起)五所川原市大字太刀打



中心市街地部の交通混雑緩和

◆五所川原市中心部では通勤・買い物等により、朝夕を中心に交通混雑が発生
◆バイパス整備により、適正な交通経路を選択できるため、中心市街地部の交通混雑を緩和





資料：民間プローブH25.4～H25.8　平日（17～18時）

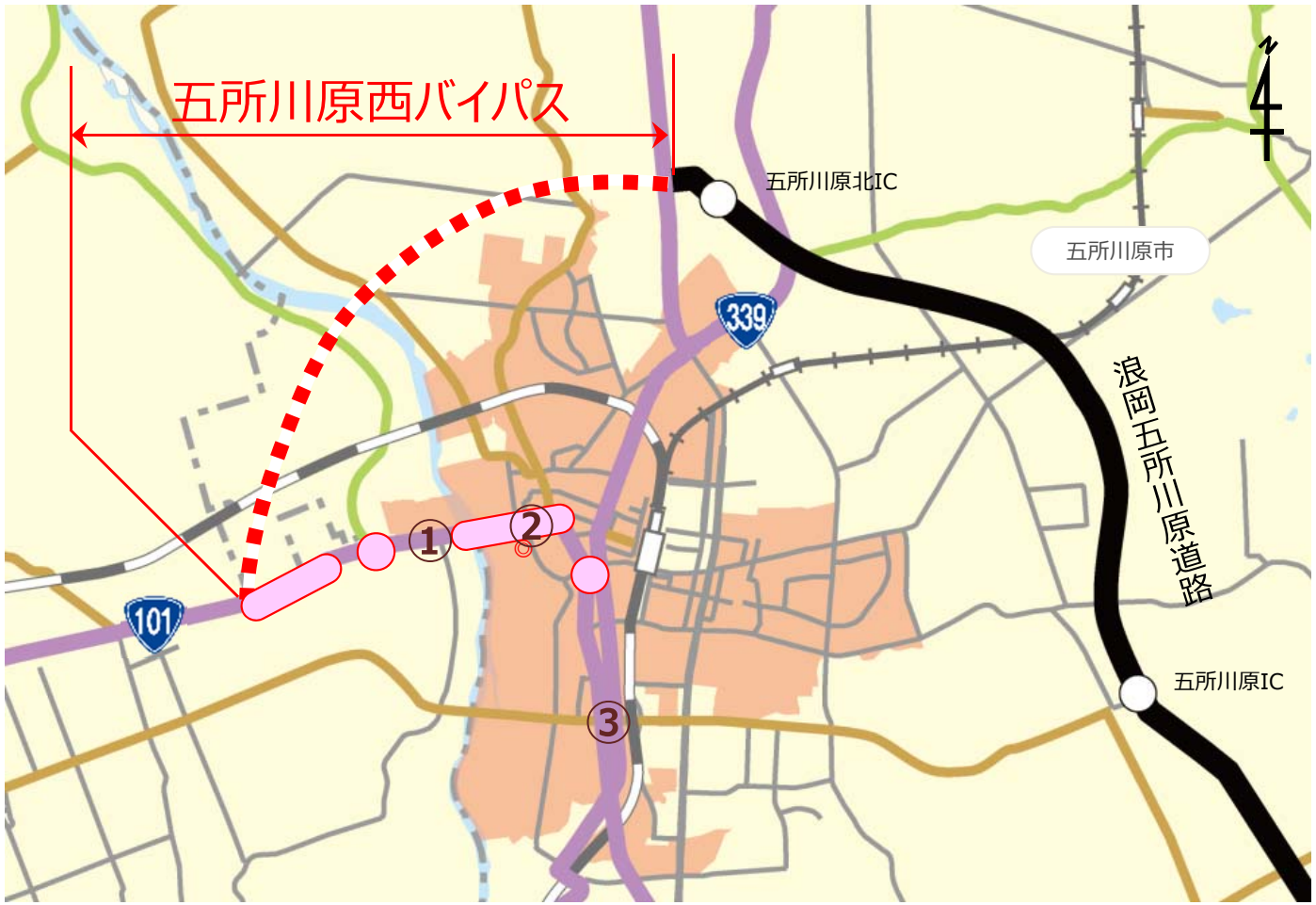
▼①五所川原工業高校前交差点の渋滞状況（Ｈ２５．５）



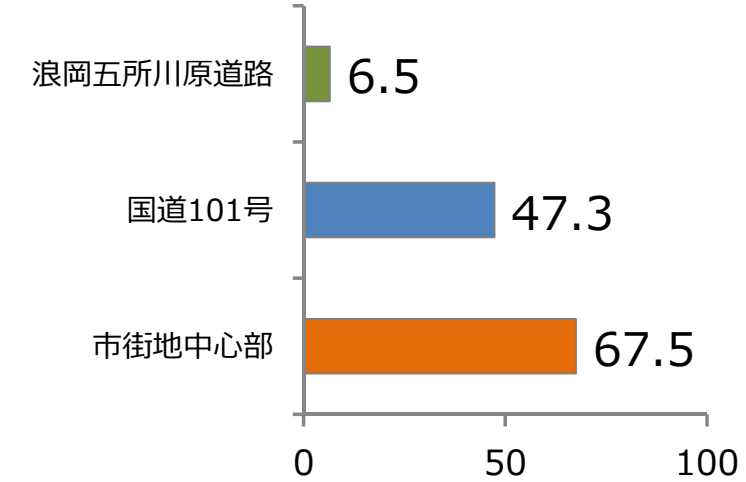
中心市街地部の交通安全確保

◆五所川原市中心部では交通の集中等により、死傷事故発生の可能性の大きい箇所が存在
◆バイパス整備により、市街地に集中している交通の分散が図られ、交通事故発生の危険性を軽減

○ 死傷事故率が青森県平均より大きい箇所
● 死傷事故率が特に大きい箇所

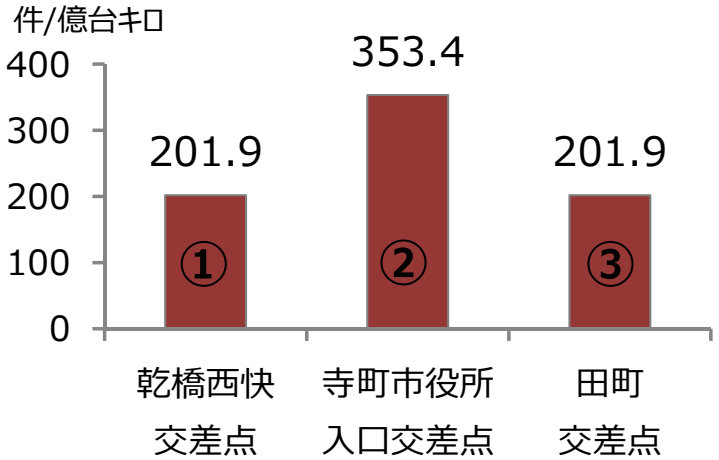


▼死傷事故率の比較



資料：イタルダ（H21～H24）

▼特に死傷事故率の大きい箇所



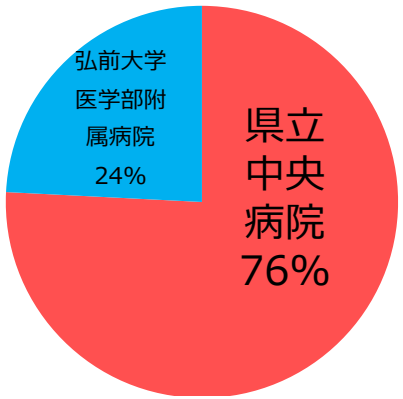
資料：イタルダ（H21～H24）

高次救急医療施設への迅速で安定した救急搬送ルートを確保

◆つがる市・鰺ヶ沢町から高次救急医療施設への搬送は、県立中央病院（青森市）が約８割
◆バイパス整備により、混雑している市街地部通過を回避し、迅速で安定した救急搬送ルートを確保

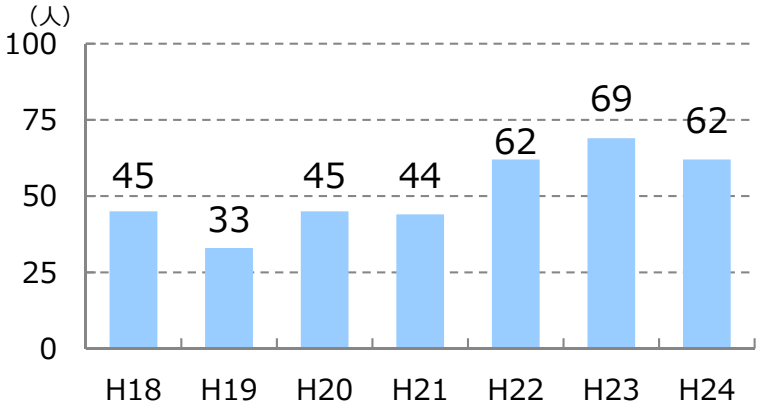


▼つがる市、鰺ヶ沢町から３次救急医療施設への搬送割合（H24）



資料：つがる市消防本部「救急業務取扱状況調査」、
鰺ヶ沢地区消防事務組合消防本部ヒアリング結果

▼つがる市・鰺ヶ沢町から県立中央病院（青森市）への年間搬送人数の推移

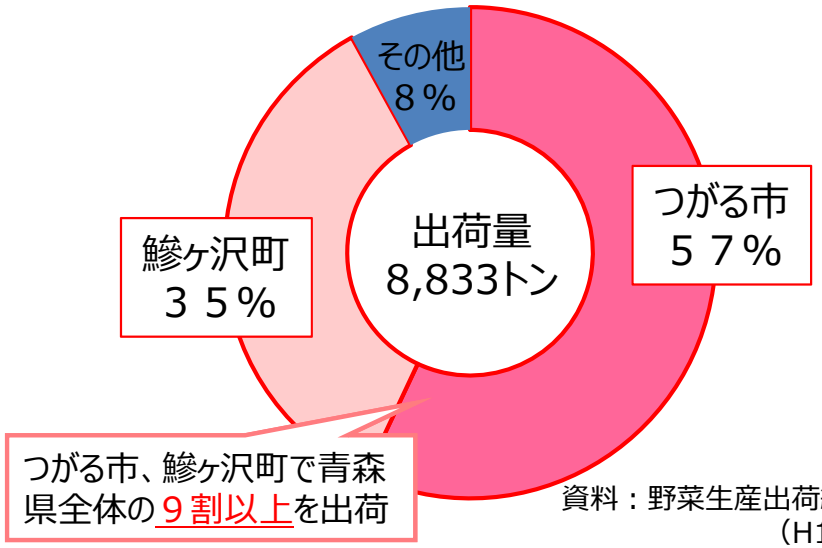


資料：つがる市消防本部「救急業務取扱状況調査」、
鰺ヶ沢地区消防事務組合消防本部ヒアリング結果

特産品の品質確保で地域産業を支援

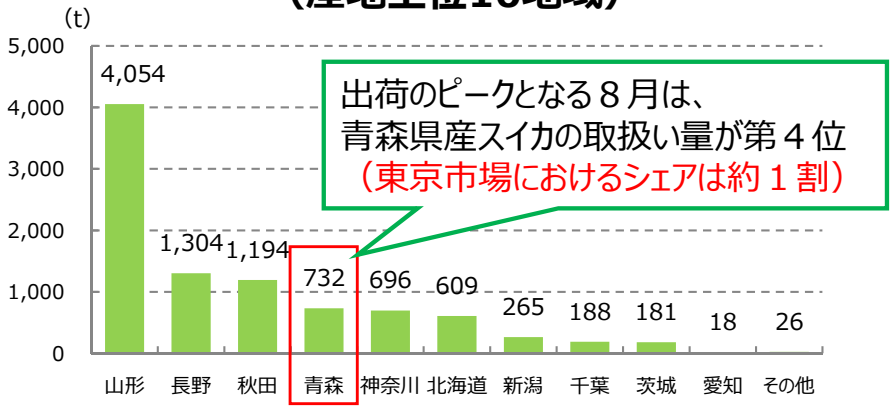
◆つがる市・鰺ヶ沢町は県内有数のスイカ産地であり、８月の東京中央卸売市場における出荷量は全国４位
◆混雑している市街地部通過を回避することにより、荷痛みの軽減など安定走行が可能な輸送ルートを確保

▼青森県市町村別スイカの出荷量



資料：野菜生産出荷統計（H18）

▼東京中央卸売市場におけるスイカの取扱実績（産地上位10地域）



資料：東京中央卸売市場産地別取扱実績 【H25.8】

